

令和8年度 墨田区立中和小学校経営方針

墨田区立中和小学校  
校長 中野 健児

「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」  
～子供たちの笑顔を広げよう中和の輪～

1 教育目標

人権尊重の精神を基調とし、広く国際社会や地域社会において、信頼と尊敬を得られる人間の育成を目指し、健康で自他の人格を重んじ、創造性に富み実践力のある児童を育成するために、次の目標を設定する。

- ◎よく考えて工夫する子ども（本年度の重点目標）
- 自主性に富み責任感の強い子ども
- 心ゆたかで思いやりのある子ども
- 健康で明るい子ども

学校と保護者や地域の方々と形成する  
「中和の輪」  
そして、協働して教育活動を行う  
「チーム中和」

2 学校経営の基本理念（めざす姿）

【目指す学校像】 ～笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校～

- ◎児童にとって、安心・安全が確保され、しっかり学び、元気に遊べる学校
- 児童のために日々自己研鑽に邁進する教職員集団の学校
- 歴史と共に、チーム中和として、学校と保護者・地域が一体となって教育活動を行う学校

【目指す教職員像】 ～子供のことを第一に考えることができる教職員～

- ◎家庭や地域と連携し、子供一人一人のよさを認め、支え、伸ばすことのできる教職員
- 指導力向上を目指して互いに学び合い、組織で動くことができる教職員
- 高い人権意識をもち、豊かな人間性を育てていく教職員

【目指す児童像】 ～笑顔であいさつができ、思いやりのある子供～

- ◎自分の思いや考えをしっかりと持ち、しっかり表現できる子供
- 気持ちの良い挨拶を自然に行い、他者を思いやる行動ができ、すすんで共生・共助に努める子供
- 物事を自分事としてとらえ、最後まであきらめずに取り組んでいく子供

### 3 経営目標（行動指針）

#### （1）すべての教育活動は子供たちのために行う

- 学校の主役は子供たちである。学習や生活の基礎を整え、「ここにいて大丈夫」「やってみよう」と思える気持ちを育てることを大事にする。子供の目線で物事を見て理解し、子供に寄り添う。
- 共に子供たちを育てていく存在としての保護者や地域の方々と力を合わせ、協働し、日々の成長を見守る。

#### （2）安全・安心で、居心地のよい学校をつくる

- 学校は、安全で安心できる場所ではなくてはならない。子供たち一人一人が安心して学び、自分らしく成長していけるよう、教職員一同が心を一つにして教育活動に取り組む。
- 子供も教職員も「学校に居場所と絆」があり、日々穏やかに過ごし、充実感・有用感のある学校（教育環境）にする。

#### （3）「知」「徳」「体」バランスのとれた質の高い教育を行う

- 「学校力」（学校の教育力）、「教師力」（教師の力量）を高め、子供の「人間力（生きる力）」を育むため、より質の高い教育に取り組む。
- 人と関わり、対話し、学び合い、高め合うことを大切にする。落ち着いた学習環境の中で、本校が大切にしてきた人と共に育つ教育を「知」「徳」「体」それぞれで教育実践する。

#### （4）確かな学力を育む学習指導を実践する

- 子供たち一人一人のよさや可能性を見だし、「個別最適な学び」、「協働的な学び」を通して、「確かな学力の定着」を図り、達成感を味わわせる。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図り、主体的に学ぶ態度を育てる。

#### （5）何度でも挑戦し、立ち直る力（レジリエンス）を育む指導を行う

- 様々な体験を積み重ね、自分の成長を感じることで、自己有用感・自己肯定感が高められる。自己の感情に気づき、コントロールできる（自己管理能力）ようにし、レジリエンスを育む。

#### （6）信頼される教師としての自覚をもつ

- 子供にとって教職員は最大の教育環境である。教職員は、常に指導力を磨き・高め、「範」を示す存在である。授業を通して「わかった」「できた」の達成感や満足感、学ぶ価値に気付かせる。
- 子供たちの生きる力を育むために、一つの目標に向かって、助け合い、認め合い、高め合う「信頼される教師集団・チーム中和」を目指す。

#### （7）「信頼」と「絆」を大切にし、開かれた学校を目指す

- 保護者・地域への積極的な情報発信を行い、人をつなぎ、地域の核になる学校づくりを目指す。
- 子供たちにとって「安心して通える」「明日も行きたい」と思える学校であり続けられるよう教職員一同が誠実に取り組んでいく。

#### 4 学校経営の基本方針（取組目標と具体的方策）

##### （1）生涯学習の基盤となる確かな学力を身に付ける

- ◎「主体的・対話的で深い学び」と「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の実現に向け、授業改善を図り、児童の「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。
  - 効果的な指導方法のデザイン化、問題解決型学習と体験的学習、地域の教材化、地域人材の活用
  - 児童が「わかる」「楽しい」「できた」を実感できる教育活動の実践・充実
- きめ細やかな指導を行い、基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を図る。
  - 個に応じた指導、少人数指導、放課後教室、ICTの活用（デジタルを活用した教育）

##### （2）人権尊重の精神を養い、思いやりや助け合い、規範意識、自他の命を尊重する心を育む。

- ◎全ての教育活動で、かけがえのない命について学び、互いに認め合い、ともに学び合い、高め合う学校をつくる。
- いじめ、不登校等の予防や早期発見・早期対応に組織的な対応・取組を行う。
  - 児童の多様な課題には個人対応でなく学年等複数対応、道徳・いじめに関する授業、寄り添い
- 望ましい生活習慣を定着させ、すべての児童が気持ちよく安心して生活できる態度を育てる。
  - 学校のきまりや約束、中和スタンダード、挨拶と言葉遣い、児童理解（自己理解・相互理解）

##### （3）円滑な学校運営・教育活動とライフ・ワーク・バランスを推進する

- ◎計画的・組織的に教育活動を実践し、教職員一同が心をつなげて教育目標の達成を目指す。
  - カリキュラム・マネジメント、教育環境の整備、組織的な対応と体制づくり
  - PDCA サイクルに基づいた学校運営・学校評価、ホームページや学校だより等による情報発信
- teams の活用で情報共有・円滑な校務運営を図り、教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する。
  - 授業時数、学校行事等、教育課程編成に係る見直し
- 特別支援教育校内委員会を計画的に実施し、特別支援教育を充実させる。
- 食物アレルギー対応について危機管理を徹底し、事故を未然に防止する。
  - 校内研修、校内体制の確立と運営
- 教育公務員として自覚と誇りをもち、教職員による体罰および不適切な指導のない学校をつくる。

##### （4）自分・学校・地域に誇りをもち、社会の形成に参画する基礎を培う教育を推進する

- ◎子供にとっては学級が社会の一つである。学級活動、特に学級会活動で子供たちが話し合い、合意形成できるようにする。
- 学校や地域の教育環境を積極的に活用し、「歴史と文化」「環境問題」「国際社会」等への関心と理解を深め、実践する教育を推進する。外国語活動を通して豊かな国際感覚を養う。
  - 児童と教職員、保護者や地域の方々との協働、地域やPTAの行事への参加

##### （5）課題意識をもち、経験と専門性・持ち味を生かし、さらなる自己の能力開発を図る

- ◎人材育成計画に基づいたOJTを組織的に推進し、全教員の指導力・授業力を向上させる。
  - 授業の改善と充実（発問と板書の工夫、ノート指導、ICTの活用、思考ツール、机間指導他）、年3回以上の授業相互観察
- 校内研究（理科）を中心とした研修機会を設定し、自ら指導力向上を図ろうとする教員を育てる。